

職位目安	育成するコア能力	到達目標	行動目標	保健師に求められる専門能力								目標設定		最終評価				
				企画立案能力	調査研究能力	情報収集能力	保健事業運営能力	個人・家族・集団・地域支援能力	健康危機管理能力	社会資源開発能力	連携・調整・評価能力	事業・政策	人材育成（管理）能力	具体的な目標	達成方法	評価	評価 次期に向けて	
課長	保健福祉分野における対応策のシステム化	1 2 リーダーとしての国や他の自治体先進事例を視野に入れた対応策のシステム化ができる	①支援の過程で必要なスーパーバイズやコンサルテーションを受けられる体制を作ることができる					○					○					
			②地域の健康課題を各種計画に活かすことができる					○					○					
			③幅広い領域の情報を分析し、健康なまちづくり及び地域のケアシステム構築上の課題、行政として取り組むべき課題を中長期的な視点から提示することができる	○	○								○					
			④計画が円滑に推進できるよう進捗状況を把握し、必要に応じて指導・助言・調整を行うことができる	○									○					
			⑤事業や業務体制に見直しに取り組み、有効で具体的な助言、指示、調整ができる									○	○					
			⑥組織内において計画の共有・検討を実施する体制をつくる	○	○							○	○					
			⑦健康危機マニュアル等における保健活動の体制整備や役割分担の明確化を図る									○						
			⑧健康危機発生時に情報を適切に処理し、的確かつ迅速な指示ができる		○							○						
			⑨部下育成の必要性を説明でき、所内または課を超えて必要な調整を行うことができる											○				
			⑩新任者の現任教育計画に参画し、進行管理ができる											○				
			⑪研究的視点による業務の改善・発展をさせるための体制を整備できる		○								○	○				
			⑫業務上の危機に対応できる体制を整備する									○	○	○				

※到達度は5段階で評価する
 5 達成している(助言なし、または少しの助言で発展させることができる)
 4 ほぼ達成(具体的な助言により達成できる)
 3 課題が残る(具体的な助言を繰り返すことのできる)
 2 達成できない(具体的な助言を繰り返しても不十分)
 1 体験する機会がない